

令和6年2月15日開会

令和6年第1回東松島市議会定例会

# 会派代表質問通告書

東松島市議会

《 会派代表質問 目次 》

令和6年第1回定例会

順位	会派名 代表氏名	件	名	頁
第1位	清新会 代表 阿部 勝徳	1	市政執行の所信について	1
第2位	松桜会 代表 櫻井 政文	1	令和6年度予算編成と市政執行の所信を問う	2
第3位	自公・市民の会 代表 土井 光正	1	令和6年度の「まちづくりの方向性」に沿った取り組みについて	5

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>清新会</p> <p>代表</p> <p>阿部</p> <p>勝徳</p>	<p>1. 市政執行の所信について</p>	<p>(1) まちづくりの方向性1「産業と活力のある住みたくなるまち」について</p> <p>①農林水産業の活性化について、農業法人の充実や後継者対策の推進の具体策について伺う。</p> <p>②観光について、昨年と同様の質問をしたが、インバウンド誘客について、市長のトップセールス、観光関連企業との連携及びSNSの利用などについて伺う。</p> <p>③企業誘致については、これまで大きな成果を上げてこられたが、新たな産業用地の整備の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) まちづくりの方向性2「子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち」について</p> <p>①学校給食の負担軽減については、さらに充実し半額になることは保護者にとって大変ありがたいことである。国が無償化すべきと多くの自治体が要望しているが、その動向について伺う。</p> <p>②令和7年度から本格実施される「重層的支援体制整備事業」の令和6年度の取り組みについて伺う。</p> <p>(3) まちづくりの方向性3「次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち」について</p> <p>①東京都大田区への東京研修の内容について伺う。</p> <p>②図書館について、増築・改修工事中の市民への対応について伺う。</p> <p>(4) まちづくりの方向性4「災害に強く安全で快適で美しいまち」について</p> <p>①内陸部への避難道路の整備について、具体的な場所等について伺う。</p> <p>②脱炭素社会の実現に向けた取り組みの環境に対する効果と経済的効果をどう見込んでいるのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>松桜会</p> <p>代表</p> <p>櫻井</p> <p>政文</p>	<p>1. 令和6年度予算編成と市政執行の所信を問う</p>	<p>1、令和6年度予算編成に当り、次について伺う。</p> <p>(1) 令和4年度決算によれば、不納欠損額は一般会計約1,952万円、国民健康保険税約5,002万円、後期高齢者医療保険料約230万円、介護保険料約739万円で合計約7,923万円である。</p> <p>各法令による適正な対応をしたとは思えるが、令和5年度は未確定とはいえ、令和6年度予算執行には、極力不納欠損の生じない対策が必要であるが、その策について伺う。</p> <p>(2) 市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の徴収について、現年度未収の分は翌年度には過年度分となり、経年徴収は困難と思われる。</p> <p>令和6年度予算執行にあたっての策について伺う。</p> <p>(3) 地方公共団体の財政力を示すものに財政力指数があるが、1に近い団体ほど普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえることができる。</p> <p>国が各種財政援助措置を行う場合の財政力の判断の指標となるものである。令和4年度決算で、本市の財政力指数は0.46となっている。</p> <p>本市の第2次総合計画の持続可能な行財政運営プロジェクトを遂行するためには、財政力強化が必要と思われるが、その目標値について伺う。</p> <p>2、市長の所信について伺う。</p> <p>(1) この度の一般会計では、全体に対し23.5%の投資的経費を計上している。これについては行政施設水準の向上に直接影響する経費であって、住民の経済効果、雇用の拡大など本市にとっても重要な意味合いがあり、その効果が発揮されれば大いに歓迎されるものである。</p>

しかし、その裏付けとなるものが明らかでなければ、本市の行財政運営に支障をきたすことも懸念される。

そこで、

①裏付けとなる財源について、国・県の補助金、起債、債務負担行為、財政調整基金の取り崩し等の方法が考えられる。総体的な観点から財源確保の方策について伺う。

②前段のような期待があれば、行財政のレジェンドとして歴史に残るものと言えるが、将来に亘っての効果について市長の目算はいかがか。

(2)「産業と活力のある住みたくなるまち」について

①本市の基幹産業である農林水産業を活性化させるためには、その産業が稼げるものでなくては担い手である人材が集まらない。そのためには、地域の農海産物を加工して高付加価値化することが不可欠である。

地域6次産業化をどう推進していくかを伺う。

②観光の振興による交流人口の拡大と関連産業の波及効果を図るために積極的に民間企業の人材やノウハウ等を活用したり、投資を募ったりして官民連携を図ることが重要と考えるがいかがか。

(3)「子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち」について

高齢化サークルの活動に男性の参加が少ない。孤立化に拍車をかけるのではと心配する。

高齢男性の社会参加の促進策について伺う。

(4)「次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち」について

観光資源は、自然景観のみならず、文化や歴史・伝統も含まれる。

本市は、奥松島縄文遺跡や赤井遺跡をはじめとして素晴らしい文化財を有している。

近年、文化財を観光で活用する気運が高まっている中、文化財と観光の連携について、今後どのように取り組むのか伺う。

(5)「持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち」について

「東松島市市民センターに係る指定管理者制度による管理の在り方検討委員会」からの答申を受けての今後の指定管理の方針について伺う。

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>自公・市民の会</p> <p>代表</p> <p>土井 光正</p>	<p>1. 令和6年度の「まちづくりの方向性」に沿った取り組みについて</p>	<p>「東松島市第2次総合計画後期基本計画」も4年目の終期にあたり、目標達成を見据え以下の5つのまちづくりの方向性について伺う。</p> <p>(1) 産業と活力のある住みたくなるまちについて</p> <p>①「基幹産業として農林水産業の活性化」について、ほ場整備事業で、令和4年度事業採択の上下堤・川下地区における国道45号上下堤地区の道路嵩上げ工事の切り回しに伴い、ほ場整備事業の進捗に支障をきたさない対策を講じているか伺う。</p> <p>②「地域の資源を生かした観光の振興」の道の駅整備事業は、11月の開業までカウントダウンの段階に入っている。工事の進捗は計画通り進んでいるのか。又、道の駅への案内看板について、出入りを十分に検討された設置を考えているのか伺う。</p> <p>(2) 子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまちについて</p> <p>①「子育て環境の充実」の学校給食費について、保護者の経済的負担軽減を図るため「特定防衛施設周辺整備調整交付金（9条交付金）」を活用して半額の軽減を実施するとあるが、次年度以降も9条交付金活用の継続と考えていいのか伺う。</p> <p>②「高齢者・障がい者等への支援充実」の令和7年度から本格的に実施する「重層的支援体制整備事業」の支援体制整備の内容について伺う。</p> <p>③「心の復興と地域コミュニティの充実」の猛暑による熱中症対策等として、市内6箇所の学習等供用施設、集会所等のエアコン設置工事を実施するとあるが具体的な設置場所は。又、今年も地球温暖化で猛暑が予想される。夏に入る前に工事が完了するよう入札等の手続きを行うべきと考えるがいかがか。</p>

(3) 次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまちについて

①「子ども達の可能性を広げ伸ばす学力の向上」の中で、令和4年度から外国語教育課程特例校として英語教育等を進めているが、学習の中での課題をどのように捉えているのか。又、令和6年度に向けての対応を伺う。

②「地域と一体になった豊かな心の育成と生涯学習の推進」の図書館の増築・改修について、工事期間中の運用をどのように行い、市民への利用サービスの継続を行うのか伺う。

③「全世代にわたるスポーツの振興」の中で、鷹来の森運動公園大規模改修工事に着手するが、どのような改修内容となるのか。又、女川原発災害時における避難退域時の検査場所関連事業との調整について伺う。

(4) 災害に強く安全で快適で美しいまちについて

①核燃料税交付金について、女川原発UPZに入る5市町首長と副知事との意見交換の記事が河北新報に掲載されていた。記事によれば50万円から400万円程度とあり、他県の事例に比べかなり少ないと思う。本市の避難計画や万全な避難体勢を行うため、恒久財源としてあらためて知事に申し入れすべきと考えるがいかがか。

②「快適で美しい自然環境の形成と保全」の中で、脱炭素先行地域として太陽光設備等の市民及び事業者向けの導入支援とあるが、実態に合わない導入支援と伺っている。例えば太陽光発電システムについては、既存のパネルにバッテリー電源のみの支援や電気自動車購入にあたり、国の補助金を使うと本市の支援は対象外であるとの話しを伺っている。先行地域としてもっと柔軟な対応ができないのか伺う。

③「良好な住環境の整備」の中で、人口減少が止まらない状況の中での良質で安価な住宅地の提供は人口減少対策として有効である。しかし、都市計画法による区域決定の遅れにより、未だに整備計画が膠着状態である。手続き等の遅れが原因と考えられるがいかがか。

④「安全で利便性の高い交通環境の充実」のデマンドタクシー「らくらく号」については、免許返納者や高齢者等交通弱者の利用が増加傾向にあるとの事だが、特に石巻市の日赤病院までの運行を望む声が多いと聞き及んでいる。利用者のアンケート結果について伺う。又、利用者からの要望の多い日赤病院までの運行の中で、限定的な運行を検討する考えを伺う。

(5) 持続可能な行政運営が図られ市民から信頼されるまちについて

①「利便性の高い行政サービスの提供」で、新たに策定した「東松島市DXアクションプラン」に基づいて市民の利便性を図るとあり、その中で矢本庁舎や鳴瀬総合支所で各種証明書の自動交付機を設置するとあるが、どのような体制で運用していくのか伺う。

【答弁を求める者 市長、教育長】